

令和元年度 国税庁長官賞

幸福と税

大淀町立大淀中学校 三年 榎本 咲月

私は、今年、消費税が増税されるに当たって世界の税が高い国を調べてみることにしました。すると、税が高い国は北欧に集中していることがわかりました。北欧の国々の消費税は二十パーセントを超えていて、住民税も日本の二倍もありました。私が驚いたのは、車を買ったときにかかる税が百パーセントだということです。高い買い物をするときは大変だと思いました。私達は、八パーセントでも消費税に不満を持ちます。だから、北欧の人たちも不満があるのではないかと思いましたが、驚いたことにみんな不満がなく、これらの税が高い国は、世界幸福度ランキングの順位が上位にありました。

北欧の国が幸福度が高いのは、税が高いことと関係がありました。なぜお金を多く取られるのに幸せなのかというと、税があることによって充実した生活を送れるからだそうです。

北欧は社会保障が充実しているそうです。例えば、ベビーカーを利用している母親はバス代が無料であったり、小学校から大学院まで学費が無料です。また、病院で高度治療を受けても、子供を産んでも料金がかかりません。育児保障、失業保障、様々な制度に人生が手厚く守られており、ホームレスも全くいないそうです。元気な高齢者は現役として働き、地域社会で活躍できるように国が支援をしています。このように多額の税金が人々の暮らしのために使われているので、北欧の人は税金に不満がなく、老後の不安も全くありません。だから、世界幸福度ランキング上位に輝くのだと思われます。税金は人々の幸せと密着に関わり合っていました。

この夏休みに多くの議員候補者が選挙活動をしていましたが、テレビを見ていると消費税をなくすと言っている候補者もいました。そう言うからには何らかの策はあるのだろうけれど、私は中学一年生のときに税がなかったらどのような暮らしになるかを調べ、税があるから私達は安全に暮らすことが出来るのだということを知ったので、それでほんとうによいのかと思ったし、それでは幸福な国から遠ざかっていくのではないかと、北欧の国のことを知って思いました。

また、現在日本では老後のことが心配されています。北欧とは違い、税が少ないので、十分な保障ができないからだと思います。そのことを考えると、私は、減税ではなく増税が正しいのではないかと思いました。今回の増税は社会保障財源のためと聞いたので、少し北欧に近づけるのではないかと思います。

消費税は特定の者にばかり負担がかかるのではなく、高齢者も含めた国民全体で広く負担することが出来ます。自分達の暮らしのためなのだから、自分達が税を少しずつ払って豊かな国を作るべきだと思うので、これからも税をちゃんと払っていこうと思いました。